

平成23年1月11日

名古屋産業大学
専任教員・非常勤講師 各位

教育支援センター
センター長 加藤 哲男

「学生による授業評価アンケート」の集計結果について

平成13年度後期から始めました授業改善のための「学生による授業評価アンケート」は、今年度で10年目を迎えました。これまでのアンケートの結果をみますと、着実に成果が上がってきております。これもひとえに皆様のご協力によるものと感謝しております。

さて、本年度の秋期セメスターにおきましてもこの12月第2週に皆様のご協力により、「学生による授業評価アンケート」を実施させていただきましたが、結果がまとまりましたので、別紙の通り報告いたします。

今回は質問項目の変更および回答形式の変更を行いましたので、そのまま平成21年度後期および平成22年度春期と比較することは難しくなりました。しかし、変更内容から似通った項目を抽出し、前年同期（平成21年度後期）と比較しますと、B項目では9項目中5項目で0.1ポイント以上評価が上昇し、4項目では同じ結果となっております。評価が上昇した項目中B（2）「板書やOH、パワーポイントなどを使ってわかりやすく情報・資料を提示しましたか」は0.2ポイント改善をみせております。

また、平成22年度春期と比較しますと、B項目では9項目中3項目で0.1ポイント評価が上昇しましたが、B（5）「先生は学生に理解度を確認しながら授業を進めましたか」につきましては残念ながら0.1ポイント低下する結果となりました。質問項目を統合し一本化した影響も考えられますが、皆様の教育への熱意が学生に十分伝わらなかったとも考えられます。

いずれにしましても、B項目の評価ポイントでは全ての項目で4.0ポイント以上となっております。皆様のご努力が成果となって現れてきているものと思われまます。

A項目につきましては、予習復習、意欲については若干積極性が見られますが、意欲についてはまだまだ改善の余地が大きいように思われまます。また、新しく追加した項目、A（4）「シラバスの到達目標に対する達成度」については、3.8ポイントにとどまり、今後の課題と考えられます。

今回の結果をご参考にしていただき、今後ますますの授業改善に役立てていただければ幸いです。